二日　夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月　金六十錢
□郵　稅　金十五錢
□一　部　賣　金　三　錢
□廣告料一行　金六十錢
□雜　報　欄　金九十錢
□場所指定一行　金一割增
□電　話（平）　七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所　磐城每日新聞社
發行編輯發印刷人　森　合　英

教育史の教へる所によると國の中に大きな變改が急速度に進行してゐる時には塾が數限りなく簇生して來る（平川謙）

閼伽井嵐

好い繪端書を出せ

愛　市　生

先日大陸に行つてゐる當市出身の某氏が來て「平の繪端書がほしいといふのでマルトモに出掛けた。所が驚いた事には平附近の繪端書はあるが平市のものはない。それではといふので今度は驛の賣店に行つて見たら、ここにはあることはあつたがその寫眞たるや現在の平市をうつした寫眞ではなく、全く古い寫眞だつた。たとへば驛前の廣場はアスファルトになつてゐない。繪端書は平市を紹介する大切な使命を持つてゐる然るに現在賣り捌かれてゐる平市の繪端書は寫眞が古かつたり印刷が不鮮明だつたりして此大切な使命を全然果してゐない。どうせ賣り出すならもつと立派な繪端書にしてほしいものである。思ふに是は自然に放置しておくからいけないのである平市は縣下でのすぐれだアマチヤア寫眞師の居住する町だ。草野氏梅崎氏のやうな素人寫眞家にお願ひして最新の平市名勝の寫眞をとつて戴き、我等の平市を天下に紹介するに足りるやうな立派な繪端書を出して戴きたい。平市を愛する人々の奮起を望む

係より……最近出來上つた磐城文化協會でも繪端書問題をとりあげて居りますからその中に御希望に添ふやうな繪端書が店頭にあらはれる事と思ひます。

春宵文學話

（四）

【於霞ヶ關茶寮鼎談】

大鹿　卓
榊山　潤
富澤有爲男

◇眞面目な小說の强さ◇

記者　今までの新聞小說といふものは、たゞ讀者に受けさへすればいゝ、讀者にこびおもねるところが多かつた樣に思ひます。ところが、大鹿さんの新聞小說はそれではない。非常に眞面目なものです。その眞面目な小說が讀者に大變喜ばれるといふのは、時の勢ひといふものもありませうが、矢張り誠實、眞實といふのが、人を衝つのぢやないかと思ひますね

大鹿　僕はなにか純粹な人間を書かうとしたのだ。僕が書かうとした主人公は非常に純粹な男なんだ、それが出てゐるか奈何かは二の次ぎとして、さういふものが必要だ。

富澤　然しまあそればかりとも云へない。大体大鹿といふ作家がそれなんだ。

榊山　それはさうだよ

富澤　つまらない作家が書けば、どんな誠實な人間を書いたところで、つまらない人間が出來て來るから……

大鹿　それから新聞小說に對して自分の意見が出て來たのだ。今までの新聞小說の理想は、これは物語でいゝといふ觀念を持つたのだね。何回で場面を轉回するとか、さういふ風なことは、技術的な今までの概念ですね。新聞小說に對するさうしたものは余り考へる必要がないぢやないかと思つたのです。さうして、自分が書きたいものを書けば宜いやうな氣がしたな。かうやつたら受けるだらうとかなんとかいふ考へは、さうした大衆作家やなにかは別として、吾々の書く場合にはさういふ必要はないぢやないか。それで、もつと何といふか普通吾々の描きたいと思つてゐるやうな純粹小說ですね。さういふものに近づけて行つて、本當に作者の力を出したならば大衆性がないやうに自分が考へる時で、大衆性とはさういふものでなくてだんだんそこに共感して行くのぢやないかといふ考へがしたのだね

記者　吾々も此の頃しみじみ思ひますが、やはり讀者の先頭に立つだけの信念と覺悟がなければいかぬと、新聞社の人、みんなが然ういふ風になつて來たやうに思ひます。

富澤　讀者が非常に進步して來たのだね

榊山　それは確かだね

春雨物語

（二）

大　森　勇

三人の子供を抱へて思案に余つた幾月かを過した後、斷然決心して家政婦として職業戰線に立つたのである。三人の子供を抱へて女の細腕で暮しを立てゝ行く事は、帆懸け舟が太洋の眞中で颱風に弄ばされた樣な事も屢々あつたのだが、暴風でも颱風でも强き堅き根張りのある母性愛の前はよけて通つたのか、十幾年かの奮鬪と困苦缺乏の幾月が流れ去つて、長男は鶴見で模範職工として働く樣になつた。長女は市內の某商店でこれまた模範店員として働く樣になつた。次女は長男の許でタイピストの學校に通學してる。長男は次女をタイピストの學校にあげて世話してる外に毎月十圓宛親許に送つて呉れる。母親は今でも家政婦として働いてる。長男の送金と次女の働き丈けでは幾分暮しが足りないからである。母親は世にも稀な善良な女性である。子供は三人揃つて親孝行である。あの世の父親は何か事のある度によつて佛壇に現はれてこの善良な家庭を護つて呉れる。佛蘭西のペタン新政府では、才能と勞働のみが新位階制度の基礎となると云はれるが、我が國の新體制でも才能と勞働に花の咲く時代が來るに違ひない。この御家庭は、緣側が玄關と物置と台所の用をなす新體制なのだが、軈て新體制が今一段强化されて、この勤勉で眞面目な子供さん達の才能と勞働に花の咲く時が來るだらう。

彼岸頃

（三）

露　木　柾　夫

電柱にかがまりよればひた土に草萠え
今朝の雨に濡れたり

午後の陽のにぶき光りは玻璃窓にアカ
シヤアの影さむくうつしぬ

つむじ風ちまたに暴るる日の午後をこ
ころきほふがごとく歩みぬ

わづかなる錢もちかぞふ或る夜半のは
かな心に雨はふるなり

妻を娶れとすすむる友が父となりては
なやぐ興にかかづらふなし

杯を並べし部屋にみだれたる心なじま
ぬときすごしつゝ

蕗の芽は霜にくぐるる日當りの枯葉の
なかに靑くしも冴ゆ

大雨に埃りのしげき街道は小溝をきよ
く水ながしたる

鋪きつめし小石はきよく沒り日の光ひ
く水を條にわけたり

まがなしく夕べを白く匂ひ咲きし丁字
の花も散りてひさしき

春あらしやまざる峽の櫟生にひと目は
白くけぶりつゝ暮る

うす靑き地靄のなかにひそひそとぶた
小屋の豚はねむりたるらし

ひそひそとかたまりねむるぶたの仔の
いのちはすでにやすらはぐもの

たつきする身をすこやかにひそかなり
のぞみは斷ちて家守りゆかむ

異說赤穗浪士

（185）

（講）　桃川若燕
城本喬

本懷成就

退つ引きならぬ僞りの證據に詰められた上野介も、一言の答へもなく四邊りを覗ひ隙があらば逃げようの下心。ところへ、

『御城代吉良上野介殿鑑定の證人を同道致してござる』

と云ひつゝ入り來る中村勘助、例の釜の中に入れて置いたお台所番里橋利兵衛を連れて來た。

『コレ、僞りを申すと一刀にて寸斷致すぞ』

『ハイ、どうかお許し下さいまし……』

『然らば問ふ、これに在るは其の方の主人吉良上野介殿であらうが？』

『ハイ、左樣でございます』

『確と相違ないか』

『確に御主人樣でございます』

『ウム……斯く鑑定人も申し居ります故潔よく御生害下さいますやう』

『イヤ何んと申さうとも予は大友近江守に違ひない』

『これまで御切腹をおすゝめ申上げるにお聞き入れなき上は是非に及ばず、我手にて御生命を頂戴致す、お覺悟あれ……』

と彼の平行安の一刀引拔くが早いか上野介の肩先深く斬り込んだ

『アツ……』

と云つて上野介はそれへ倒れる、起しも立てず懷より取り出した內匠頭お肉通しの短刀握りしめると胸元目がけて止めの一刀を突きさした。

これに依つて內匠頭の吉良上野介に對する報復は遂げたも同樣、首級討ち取り役は一番槍を勸めた間十次郎、二番槍の功名を揚げた武林唯七は吉良殿のお小袖の白無垢を以つて首級を包む役、その他義士の面々は上は大石より下は寺阪吉右衛門に至るまで、一太刀宛怨みの一刀を浴びせた上、上野介の首級は木村岡右衛門がこれを受け取つて一同と別れ唯一人にて吉良邸を拔け出ると、一ツ目橋の橋際から豫て用意の小舟に乘つて眞一文字に高輪泉岳寺に赴く。途中警護は例の本家淺野家よりつけられた黑槍組の隊士三人、跡に殘つた同志一同は大石の下知に依つて、第一に火の元を改め、それより廣間の床柱に用意の書類を張りつけたときに大石は一同に向ひ

『これより引揚げ、途中兩國橋を越え、亡君御墓所のある高輪泉岳寺へ赴くが、深傷其他にて步行困難の者は申出るやう……長年の苦心も只今を以てその思ひを達した此後共充分心して出所進退を誤らぬやう……』

大石から申し渡すと岡野金右衛門に命じて吉良家の茶の間にあつた桂籠といふ名器を白布にて包みこれを槍に突き刺すと、吉良の屋敷を引揚る、

その時には夜來の雪は全く止み雲間から射し込む朝日が、積雪を照らす有樣は宛ら、一黨の壯擧を讃へるかのやう。蕭々と引揚げる一統を見て大石は前原伊助に命じて回向院に赴かしめる。これは手負ひの者に手當をさせよう大石の腹、前原が回向院の門前まで來て門を叩き、

『御開門下されたし、我々共は淺野內匠頭浪人にて昨夜吉良邸に推參致し、主人の存意を繼ぎ首尾よく敵上野介殿の首級を頂戴致し只今引揚げの場合、同行の者に手負有之に依つて御當寺を暫時借用致し度此段方丈へ御通知を願ひたい』

門番は前原の挨拶を聞いて吃驚して奥へ驅け込み右の話を傳へる住持は「這は一大事」と狼狽て門際まで來ると門の外に待つてゐる前原伊助に聲を掛けた。

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢
平・大國町電323番

小名濱唯一の
味の店
おでん
小料理
味の店　寳來
御會食御商談に御利用を……

切符のいらない自由に買へる粉ミルク
金鶴コナミルク
最良の母乳代用品
ボール筒入壹圓四十錢
市內特約店
三丁目　星藥店
三丁目　磐崎屋
三丁目　大黑屋洋品店
田町　マーケット
田町　大坪商店
土橋　マルマン商店
研町　マル井雜貨店
長橋町　吉村商店
長橋町　桝屋商店
金鶴コナミルク縣下配給所
平市三丁目　大黑屋本店內
特約店希望方は御照會下さい

平市紺屋町　電話六八番
吉田眼科醫院
醫學士　吉田久雄

外科專門
野村外科
手術室完備
小名濱町古湊
元津村屋跡

平營業所開設
今般左記へ平營業所を開設致しました、何卒御後援の程御願ひ致します
仙台市東三番町
河北新報社
一、營業所　平市堂前二〇番地（磐城訓盲院東隣新川端）
主任　坂本忠治

[illegible]

平市大町　電話七九[illegible]
內臟外科
整形外科
▽入院隨時△
醫學博士　內木宗八
內木外科醫院

本場特選
スッポン
肺、肋膜、心臟、胃腸の弱い方に
血となり肉となる
生スッポン
生血・生膽
平市六丁目
本町通り
岡崎スッポン店
養龜所　平市正月町一番地

小名濱町小學校前　電話四五
產婦人科
外科一般
花柳病科
黑澤醫院
醫學士　黑澤廣
【見習看護婦募集】

◉中古純綿◉純毛掘出し物地縞◉正紺絣◉紺織色、紋平◉メリヤス◉チャンバーヅボン◉オーバー◉布團類◉作業服◉洋服類
產業戰士必需品豐富荷揃
平市二丁目角
伊關吳服店
電話三三三番

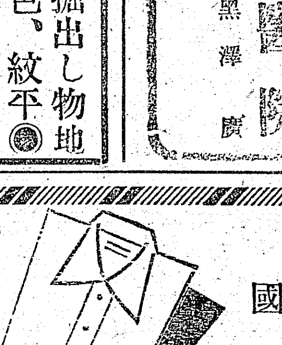
外科一般、內臟外科
性病科、肛門病科
▽入院隨意△
外科　木村醫院
木村淳
平市南町（警察署通り角）
電話三〇九番

耳鼻咽喉科專門
入院隨意
病室完備
大和田醫院
平市南町　電話一七〇番

便利で經濟な
日下家政婦會の派出婦を御利用下さい
＝身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です＝
平市二丁目三番地　電話七二三番
日下家政婦會
會長　日下すい子
會員同志の御加入……派出なき閑暇に裁縫や編物お教授致します
御誘ひ致します

▲男女車掌募集
平市四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

國基の五大製品
國民服　ケンモーサージ　甲號　乙號
本絹中衣　甲號　乙號
本絹レインコート　國民服用　外套規格
本絹レインコート　B・A號
國民帽と儀禮章
（カタログ生地見本進呈）
技術の優秀な親切な仕立
大量注文も御引受致します
コツキー製品特約店
大崎屋洋服店
平銀座　電九六番



春のヤマカのお知らせ
チャック付——勤勞シャツ
若い人の——ワイシャツ
本絹の——ネクタイ
國產の——中折帽
澤山取揃へました
平・二丁目
ヤマカ
TEL 605

萬年筆は專門店へ
事務に!!!
進學に!!!
御祝に!!!
㊣2.00以上
岡萬年筆專門店
平市中央通り

女車掌募集
未經驗者を希む
【經驗者も可・本人御來談乞ふ】
三井自動車商會
平市二丁目　電話685番

醫院開業
內科
小兒科
專門
醫學士　石坂銈
平市六丁目
交番脇
石坂醫院
午前宅診
午後往診

翼賛運動 中核的機關
青壯年隊の組織要項決る
常會へ提案・編成着手

平市の青壯年隊組織に關する翼賛會平支部理事會は昨一日午前九時から開き、骨子を定めて更に市推進員を招き理事會案を示し、諒解を求める處あり、翼賛運動の中核体と成る市青壯年隊編成案は漸やく具体化するに至つた、同理事會案は更に七日開かれる市協力會議へ提案して承認を求めた上編成に着手される

別項、市支部理事會は引續き市青壯年隊組織について愼重協議した結果次の如き青壯年隊規程を決定した、規程は七日の常會へ提出されるが市の青壯年隊は各區內會に分隊を置きこの分隊は五月二十日までに區內會長を中心に推進員等が主体となつて結成する方針で同理事會終了後、午後一時から更に理事に推進員を加へて參集、同理事會で決定した規程を說明、推進員に諒解を求めた

【組織要項】

◇組織方針、高度國防國家体制建設の線に沿つて政治經濟文化の全領域に亘り必要なる生活刷新の實踐活動を爲し椽の下の力持的役割を果しつゝ大政翼賛運動の推進力となるべき全青年層の組織として各市町村支部單位を結成せしむ

◇名稱は大政翼賛會平市青壯年隊とす

◇隊員は地域內に於ける青壯年を對象とする組織にして本隊其の目的を同じくするものは此の際全部參加統合することに努力す

◇組織の內部に職域的部門を設け職域活動を充分なし得るやう考慮すること

◇隊長は幹部の推擧により當該支部長之を推擧し縣支部長に於て指名す

◇大政翼賛會青壯年隊は次の如き事項の實踐に努むるやう指導すること

1、皇道政治確立への挺身

2、國家の要求する增産への積極的活動

3、地域的職域的協同体制への促進

4、國策の周知徹底と民情上通の機能發揮

5、常會への積極的協力

6、生活刷新と正しき日本文化の建設

7、戰時經濟への自主的協力

8、隊員の相互鍊磨

◇市町村組織結成後は幹部の指導連絡に充分意を注ぎ指導者網の完璧を圖り以つて青壯年運動に筋金を入れる

【大政翼賛會平市青壯年隊規程】

◇本隊に左の職域的部門を設けることを得

農事部　商業部　工業部

◇本隊は區內會單位に分隊を置く

◇本隊に左の役員を置く

一、隊長（一名）一、副隊長（二名）一、部長（若干名）一、幹事（若干名）一、分隊長（三十四名）

◇役員の選任左の如し

1、隊長は市支部役員の意見を徵し支部長之を推薦し縣支部長より指名ありたるもの之に當る

2、副隊長（並に部長）は隊長の推擧に依り市支部長之を指名す

3、幹事は隊長之を指名す

4、分隊長は當該區內會長及分隊員の意見を徵し隊長之を指名す

◇本隊事業の施行に關しては役員會の意を徵し隊長の決する所に依る

◇本隊の經費は隊費、補助金その他の收入を以つて之に充つ

【平市青壯年分隊規程】

◇本分隊に左の役員を置く

分隊長（一名）副分隊長（一名）幹事（若干名）役員の任期は一年とす、但し再任を妨げず

◇大政翼賛會平市青壯年隊第何區分隊は平市第何區內居住の男子にして年齡二十一才以上四十才以下の青壯年を以つて組織し事務所を第何區分隊長宅に置く

翼賛會市理事會で
實踐事項協議
商店法と店員指導問題答申

翼賛會市支部理事會は昨一日午前九時から市長室に開き青壯年隊結成に先立ち

△商店法による休業日改善に關する件△十六年度本縣國民貯蓄奬勵に關する件△食糧增産に關する件△本縣大政翼賛會運動に關する件

を協議した結果、二十日の公休日を一齊休業とするか或は業種別に休業日とするか、休業日に於ける店舖閉鎖上に考慮を要する點なきやに對し

從來通り一齊休業とすること、但し店舖閉鎖する場合は美觀を損せざるやう工夫することを希望する

公休日に於ける店員指導上改善すべき點如何

指導機關を設置する例へば商業報國隊等が中心となり之が敎化育成に當る

續いて十六年度本縣貯蓄奬勵に關する件に移り貯蓄奬勵方策、國債の消化促進、長期貯蓄の徹底、貯蓄態勢の強化と、戰時生活の推進などに付いて忌憚なき協議を進めた

藥學報國聯盟
文協と連繫街頭進出

從來平市には平藥劑會學術部といふものがあつて、西村藥店の鈴木新右衛門氏が主体となり若い藥劑師が團結して衞生防毒等の事を研究して街頭進出をはかつてゐたが、西村氏の出征に依り一時中絕狀態となつてゐた處、今回西村氏の歸還を迎へて再出發する事になり、平保險所等役所の藥劑師をも加へ郡下十五名位の參加を得て時局下にふさはしい藥劑師として職域奉公に乘り出すことになり、明三日午後五時からマルトモホールに於て「磐城藥學報國聯盟」の創立總會を開くことになつた、發起人は鈴木新右衛門、阿部康雄、小野博司、瀨尾善之の四氏で今後磐城文化協會と連絡を圖り街頭進出することになつた

鹿島神社 例祭
小名濱町賑ふ

小名濱町鄕社鹿島神社の大祭は今二日執行されるが昨年新調した神輿の第二回目の渡御で本町は二日間に涉り賑を呈する

本縣指導船
磐城丸
十五日頃出航

本縣指導船磐城丸は石の巻造船所で小修理を施し鰹漁への準備中であるが本月十五日頃には出漁出來る豫定である、その間水産試驗場の無電局では一般漁況を接受して本縣出漁船に無電指導と待機中の出漁者のために參考放送を行つてゐる

小名濱警防團
表彰旗披露、團服新調

小名濱町警防團では去月二十九日午後七時役場に幹部會を開き現場表彰旗並に規律訓練表彰旗獲得の披露式擧行の件を協議し本月中に擧行する事とした

尙ほ全團員の甲號團服新調の件も左の如く決定した、副分團長、正副部長用四十一着、班長並に一般團員用二百五十着六千六百餘圓、この金額は町費より一千圓補助、五千餘圓は幹部手當六百四十四圓を積立償還金として一時信用組合其他より借入れる事とした

亡母供養

平市南町山宗山崎元三郎さんは亡母の四十九日に際し供養の爲平警防團へ五十圓寄附した

市警防施設擴充
追加豫算二萬九千余圓承認
生産擴充道路も開設

警防施設強化案上程の平市會は二日午前十時半開會、二萬九千七百五十一圓の追加更正豫算及寄附採納、市有財産處分案、部落有財産處分案等異議なく承認、工業學校建築費寄附金起債償還年限變更の件も承認した

警防費二萬九千五百五十一圓の內譯は撒水自動車修繕費千五十一圓、防空設備資材整備費一萬八千圓（小型ガソリンポンプ三台）營繕費一萬五百圓（分團詰所三ケ所建築）等である

これ等警防施設費の財源は市警防團後援會寄附六千圓、市警防團寄附四千五百圓、其の他指定寄附八千百七十五圓、指定無き寄附金六千八百七十八圓を見てゐる

尙追加更正豫算中警防團關係以外に銃後施設費五千百二十圓追加し生産力擴充のため産業用道路の開設を圖ることになつた

篠山校長へ
慰勞金
金古議員提案

別項、市會の提出議案審議後金古議員から前平第一小學校長篠山康氏に對する慰勞金問題を提案した。市の內規に依れば校長は年額八圓特別の功勞あつたものは特に五拾圓を增額する事になつて居るが提案者は浪江の根本校長、好間の吉田校長が何れも千圓を贈られた例をあげて相當の金額を贈るべき事を述べたのに對し、市長は考慮中の旨を答へた

大日本電力
所長更迭
新任菅野氏着任

大日本電力平事務所長大越茂利人氏は同社の郡山事務所長に榮轉、明二日水戶廻りで赴任する

後任の菅野義三氏は事務所長と平出張所長を乘務することとなり二日各關係方面へ挨拶廻りを爲した

中等校敎諭
奏任待遇

今回市內中等學校敎諭中左記五名が奏任待遇の榮譽を與へられることになり官報を以て發表された

磐城中學　渡邊恒夫

磐城高女　新妻熊男

　日野良太郎

平商業　武川信夫

　宮澤勝三

高等官七等を以て待遇せらる（各通）

前線から
銃後へ

四倉町字新町海産商鈴木長助氏二男宇之吉君は目下南支戰線に活躍中であるが昨一日四倉警防團宛に金七圓を活動資金にと手紙に添へて寄附して來た

磐城無盡
創立記念式

磐城無盡會社では創業二十周年を迎へ五日午前十時から同社樓上で記念式を擧行することに決定した

不二水産をめぐる
『砂糖の闇』全貌
驚くべき不正取引き暴露

平署では先に縣經濟保安課永山次席の應援を得て東京澁谷區並木町に本社を置き小名濱町愛宕下に工場をおく不二水産株式會社の砂糖に絡る大がかりな闇事件につき去月十九日以來引續き取調べを進めてゐるがこの關係者は

△前同社代表八王子市八日町大前不二勇（三四）△前取締役東京市世田ケ谷區堤町森川稻彥（五八）△前取締役八王子市八日町廣澤治平（四九）△社長杉並區天沼一町目內山博（四四）△取締役小名濱町定西高木武士（四〇）△取締役東京市杉並區馬橋町今村義基（三三）△取締役東京澁谷區幡ケ谷町大野久（四九）△取締役東京市杉並區中通町笠原健（四五）△橫濱市神奈川區神奈川通り五丁目森川昌彥（三四）△事務員小名濱町愛宕田邊桂（三四）△平市大町菓子商山本一郞（六二）―假名

で現在までに發覺した闇の內容は次の如くである

同不二水産は三萬圓拂込み資本金十二萬圓の株式會社で同社小名濱工場の製品は醬油の原料たるヂャスターミール並に即製あん佃煮等であるがこの品不足につけ込んでヂアスターミール正味八貫入れ叺九圓五十錢、即製餡一貫匁一圓十錢の處を本年三月より四月十五日までの間にヂアスターミールを長野縣須坂町清水商店外一名に一叺につき十一圓の割で二萬八千五百六十四圓分を販賣二千三百五十圓八十錢の不當利得を占め

更に即製白餡を十五年六月より本年四月十七日迄東京京赤坂區小網町十一番地大茂商店外四名に一貫匁三圓三十二錢の割合で六千四百四十五貫百八十匁價格一萬七千九百余圓を販賣、九千八百八十圓三十五錢の不當利益を貪り

また赤餡は平市の山本に一貫匁二圓五十錢から二圓八十七錢の割で八百八十八貫匁價格二千五百十六圓を賣却、千四百八十九圓五十錢、合計一萬二千九百二十圓三十五錢の不當利當を占めたもの

尙ほ同小名濱工場の事務員田邊桂は昨年九月十六日前記長野縣須崎町清水商店外一名に對しヂアスターミール二千七百叺價格二萬八千五百六十四圓を一かます九圓五十錢の處を十一圓の割で[illegible]、二千三百五十圓八十錢の不當利益を貪り更に即製餡は東京市日本橋區牡蠣殼町萩原商店外一名に一貫二圓八十錢の割合で六千六百八十八貫四百八十匁價格一萬五千五百四十圓八十八錢を販賣、七千八百七十一圓三十三錢の不當利得を占めた

尙ほ平市大町山本は小名濱町定西取締役高木武士と計り前記田邊より白餡千九百六十圓赤あん二千五百十六圓分を買受け更にこれを闇で平市大工町一心堂外七名に白あん二百六十四貫赤あん六百三十六貫計一千五百七圓余の不當利得を占めてゐた

清水屋の慶び
八重子さん賀澤家ご婚約

小名濱町長縣議小野晋平氏次女八重子さんは上院議員諸橋久太郎氏媒酌で元磐城共濟病院創設者賀澤忠治氏次男東京府下西多摩郡瑞穗町立病院長賀澤貞雄氏と婚約整ひ十二日東京日比谷大神宮で華燭の典を擧げ、同日目黑雅敍園に於て披露宴を催すことに決つた

新郎の貞雄氏は慈惠醫大卒業後南滿洲醫大で二年更に母校に歸つて加藤內科で三年間內科の研鑽を積み現在に至る、提出中の學位論文も既に認定濟みで臨床學に造詣深い學究の士である、新婦の八重子さんは東京跡見女學校出身の才媛である

宗川宗滿師
近く晉山式擧行

夏井村淨土宗本山如來寺住職より來寺たる小名濱町心光寺の住職として迎へた權大僧都宗川宗滿師の晉山式は檀下惣代の主催の下に本月中に擧行される模樣だが師は心光寺の復興に重點を置き〃精神新体制〃にも乘出す意向で精神界沈滯を來した小名濱町としては新智識を得た事に大きな期待をかけてゐる

奴祭り
臨時列車

明三日渡邊村中釜戶諏訪神社七年目大祭に際し當日の混雜緩和をはかるため高萩平間に上り下り八本の臨時列車を運轉する

（上り）△平發前一〇、二五泉着一〇、四六高萩着一一、三〇△同後〇、四〇泉着一、〇二高萩着一、四四同六、一五泉着六、三六高萩着七、二四△同八、四五泉着九、〇七高萩着九、三九

（下り）△高萩發後〇、二五泉着一、〇七平着一、三一△同四、四〇泉着五、二一平着五、四五△同六、三九泉着七、一九平着七、四五△同八、一〇泉着八、五一平着九、一五

平の今昔
（九）

黄金を鑄込んだ
消防組建立の『城山の鐘』
お濠の上に浮んだ花柳街

舊藩時代は現市役所附近は下役所と呼ばれ廢藩置縣後現市役所の處に磐前縣廳が設けられた、田町一帶は當時の官員樣の官宅地でコバ屋根のバラック建がグルリとあり今で言ふ知事當時の縣令の官舍は現安齋醫院の處にあつた、今では當時の建物は殆ど影がなくなつたが市役所前の産婆白石テルさんの宅などはその官宅の殘りだと言ふ話だ。

花の新川で有名な新川の櫻はまだ新しいもので平市內の日露の勇士達が凱旋記念に植樹したもので、それ以前の平の櫻と言つては神社や寺院の境內に二三本位づゝあつただけ、花見と言へば本當に花を見るだけで舊四月初西の日だけ町の人々は山に出かけてた位ので現今の賑やかな花見と言つたものはなかつた。

白雲去來する城山々上に古へを語るが如く建つて居る城山の鐘撞堂は明治が終つた大正年間平消防組が御大典記念に建立したまだ歷史の新しいもの、この梵鐘は消防組の手で城山で鑄られたものでその際數限りなく黄金のカンザシや金の指輪と言つたものを善男善女が投じたと言ふ話だから今日この頃一寸惜しい樣な氣もするし調べて見れば隨分献金美談もあつたと思ふのだが遂ひ調べずに仕舞つて申譯けない次第。

『藝妓屋の話』

絃歌さんざめく平の花街新田町は埋め立てられたお濠の上に咲き出したものだとは前に書いたが、それは明治も中頃、平に鐵道が敷かれ停車場が出來てからこつちのことでそれ以前平の藝妓屋街は二丁目横丁と南町、今の闘彰酒店から谷口附近が中心だつたと言ふ。それが鐵道開設と共に新田町の水の上や桑畑の方へ移つて行つたもので現在二丁目横町には玉川、谷口の二軒だけとなつて居る。この横丁は俗に辨天横丁と呼ばれその名の通り、ミメ美はしき辨天樣がシャナリ〳〵とのして居たものらしい

さて平の藝妓屋はでは一体何時頃から平の町に芽を吹き出したものだらう、今でこそ平の花街と言へば黑ダイヤの景氣と共に縣下屈指で、藝妓置屋が十九軒、料亭と名のつくもの四十五軒を數へ、藝妓數は大藝妓八十四、五名、半玉十四、五名が爛漫と[illegible]出し、その一ケ月の平均玉高は事變の十三年ですら約二萬本と言ふ豪勢さだ

小林氏に感謝

磐城セメント四倉工業所人事係長小林益三氏は同所庶務課に勤務中四倉、大野、大浦の一町二ケ村の稅務其他の協調に盡力した功に酬いられ去る二十九日の天長節をトし一町二ケ村から客膳拾人揃を贈られ感謝の意を表された

結婚費節約
助成會寄附

平市南白銀町鐵道官舍大樂キミエさんは結婚費用を節約した金二十圓を三十日市助成會へ寄附した

銃後赤誠
小名濱町の献金

◇小名濱町諏訪町木下甚七氏は亡父一周忌費用を節約し金貳拾圓を銃後奉公會へ寄附

◇小名濱町汐留小供隣組渡邊ヨシ外十名は勤勞奉仕で得た金四圓を銃後奉公會へ四月二十八日寄附した

小名濱町古港丸八鐵工場代表篠崎一君外九名は産報の費用を節約して金十圓を銃後奉公會へ

◇玉川村岡小名鈴木勝彌氏は死亡した妻の葬儀費用を節約した金十圓を小名濱町銃後奉公會へ

◇小名濱町新町子供隣組（組長渡邊義正）では廢品回收した金一圓を奉公會へ

平商業の
記念日

來る十日創立記念日を迎へる平商業では當日式後校內角力大會を催しなほ例年通り郡下國民學校兒童の參加を求めて角力優勝旗爭奪戰を行ふ

舊四月　八日

新五月　三日

土曜　辛亥　大安　危　女宿

▲一白　急ぎて物事を過たんより靜かに進むが宜し

▲二黑　萬事意の如く開發する日旅行吉

▲三碧　穩かに進めば自ら展開する日病厄盜難注意

▲四綠　氣運優勢にして計畫大に達成を見るべき日

▲五黃　運勢佳なるも一氣に成功を急がざるがよし

▲六白　進退懸引の自由を失はるゝ日常業を勵み吉

▲七赤　遲々として物事進まぬ日焦れば更に凶なり

▲八白　迷ひを捨て怠らず精勵せば功果大に擧がる

▲九紫　順調に見ゆれども見込違ひの爲損するの日

天氣豫報

今晚　南の風晴れ勝ちの天氣です

明日　西の風曇りからだん〳〵惡くなります

（三日）滿潮　前六、四五　後一〇、〇〇　干潮　前一、四〇　後二、三五

縣下警防團員共濟基金
寄附募集會計報告
（平市警防團取扱ヒ分）

總收入　一萬六千四百一圓

　內寄附金一萬五千五百十六圓

　協會制戻金八百八十五圓

總支出　九千九十七圓八四錢

　協會納金八千八百五十圓

　募集經費二百四十七圓八十四錢

差引殘　七千三百三圓十六錢

殘金七千三百三圓十六錢ヲ處分スルコト次ノ如シ

一金　四千五百圓　平警防施設費へ指定寄附

一金　千五百圓　平警防團共濟金へ繰入れ

一金　五百圓　平警防團會計へ繰入れ

一金　八百三圓十六錢　平警防團幹部會計へ繰入

右決算公告ヲ以テ一般御寄附ニ對スル御報告ト致シ候間御諒承願上候

昭和十六年五月廿九日

平警防團長　關內正一

寄附募集會計　山崎忠兵衛

一般寄附者殿

高級なる運命鑑定

觀相名家　哲龍子師出張

安心の出來る運命判斷
親切丁寧詳細でよく的る
代人は寫眞必要、家相に出張

期日　五月二日ヨリ一週間限り
午前八時半から午後六時迄

場所　平市堂の前　欣淨寺內

體力を創れ

オリンピア映画第二部
美の祭典 スチル展開催

健康增進強調週間

期間　五月二日ヨリ七日マデ
封切　五月八日ヨリ平東寶映畫劇場

晴雨兼用傘陳列
初夏の帽子陳列
初夏のネクタイ陳列
初夏のワイシャツ陳列

兵隊さんへ慰問品を送りませう
慰問品賣場開設
出來上り慰問袋　一圓半、二圓、三圓

平市　大黑屋